

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.936
2021.10.17

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

市職員の補充は適切に 兼務でのコロナ対応は限界



9月議会・決算 (総合政策②)

9月27日、久保みき市議が決算特別委員会（総合政策委員会関連2日目）において、市職員の働き方について質疑しました。

久保 職員の長期病欠がある場合、どういう基準で職員の補充をするのか。

市 所管課と相談して補充している。

久保 長期病欠者がいる部署で、職員の補充をしなかった割合は。

市 だいたい1割程度の所属において配置が措置されていない状況があった。

久保 決算資料によると長期病休の疾病は、圧倒的に精神行動の障害が多い。しかも年々増えている。立て続けに精神疾患の方が出ている課はあるか。

市 複数人の精神疾患、病欠が出ている所属は多くはないが、ある。

久保 その原因は把握しているか。また、対応はどのようにされたか。

市 職員がメンタル不調を引き起こす原因は、当然、職場環境があるし、家庭環境、職員の既往症などさまざま考えられる。長期病休者が出た部署に対しては、必ず聞き取りをして、病休に至った原因や直近の職務内容などを確認している。

職員の長期病欠で補充がされず、残った職員の業務が過重になる問題が起きており、久保市議は職員を適切に補充するよう求めました。また、昨年度はコロナ禍で50人の職員が保健所などに応援動員されました。そのため本来の職場が手薄になりました。久保市議

男性教職員の育休取得率 1.7% はあまりにも低い

9月議会・決算 (文教)

9月28日、たけこし連、金子あきよの両市議が決算特別委員会（文教委員会関連）において質疑しました。

たけこし市議は、2020年度の男性教職員の育児休業取得率が1.7%と、一般行政職の36.9%に比して異常に低いことをとりあげました。

たけこし 育児休業を取得した男性教職員の人数は。

教職員人事課長 育休取得対象となった男性教職員117人中、取得したのは2人。

たけこし あまりにも低すぎる。今後の取り組みと目標は。

教職員人事課長 今年度、育休を取得する男性教職員は12人と増えている状況。迅速な代理の配置に努めるなどして、安心して育休を取得できる環境づくりに努めたい。教職員の目標は定めていないが、男性市職員は取得率23%の目標を掲げている。

金子市議は小中学校でおこなわれている英語の外部業者テストについて質しまし



た。

金子 費用負担はどうなっているのか。

指導2課長 中学2年に実施するGTECの2020年度決算額は5229万8426円、それ以外の英検IBAと英検トライアルについての費用はかかっていない。

金子 業者にとってのメリットがあるから、無償あるいはこれほど安い費用で実施できるのではないかと指摘した個人情報の取り扱いはどうなっているか。

指導2課長 個人情報の機密保持と目的外使用の禁止について遵守するようにしっかりと話をしている。任意の部分は通知も出して保護者、生徒に知らせるようにしている。

は「兼務で応援動員という行き当たりばったりのやり方では、今後は乗り切れない。職員

を増やしていくことを本気で考えていく必要がある」と述べました。

「地球温暖化対策」も「男女共同参画」も どちらも本気でとりくめ



9月議会・決算（市民生活）

10月1日、久保みき、とばめぐみの両市議が決算特別委員会（市民生活委員会関連）において質疑しました。

2030年までにCO₂排出量を半減するために世界的なとりくみが進むなか、わが国のCO₂削減目標は42%と大変低く、本市の目

標はさらに低い35%です。再生可能エネルギーの導入容量が増加し、次世代自動車が普及してもCO₂排出量は横ばい。部分的な対策ではなく、脱炭素や環境優先の政策に思い切って転換する必要があります。とば市議は「大型開発を見直し、森林、水田を守り活かし、路線バスやコミバスの充実、自転車走りやすいまちづくり、産業廃棄物やごみ処理に至るまで、あらゆる分野でCO₂削減にとりくまなければ間に合わない」と強調しました。

また本市は「第4次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン」で「政策・方針決定過程への女性の参画の拡大」を重点事項としながら、自ら掲げた目標にはほど遠い実態

です。とくに市の防災会議に女性が1割しかおらず、全国・県内平均をも下回ります。とば市議は「『防災対策に女性の知恵は不可欠』とする国連婦人の地位委員会の決議にも逆行する」ときびしく指摘。「内閣府の『市区町村女性参画状況見える化マップ』」が示す首長・副首長、議会、公務員管理職、審議会、自治会、防災会議の6分野で、女性の参画を進めるために各所管に働きかけ、ふさわしい活動を積極的に進めることができる部署として、男女共同参画推進センターを位置づけるべき」と述べました。

また久保市議は、DV防止事業について質問しました。

福祉の充実・改善を求めて 保健所の機能強化も急務



9月議会・決算（保健福祉）

ルス感染症対応が不十分だったことを指摘し、保健所を増やすこと、各区保健センターの機能強化を求めました。保健所長は、「増やすにしても、保健所を増やすのか、どこを増やすのかがまた議論になってくる」と答弁しました。

障がい者の移動支援については、2019年2月の予算委員会で久保市議が求めたグループホームを起点とした移動支援も可能になり

ました。今後はニーズの高い通学・通所支援で希望者すべてに対応できるよう報酬単価の引き上げも含めて改善を求めました。担当課は検討すると答弁しました。

とば市議は、高齢者の緊急通報機器の貸出について質問。昨年孤独死した高齢者が利用を勧められていたものの、機器を壊すと求められる実費弁償が気がかりで利用できなかった事例を示し、実費弁償の廃止を強く求めました。

また、市内の介護サービス事業所で、入所者が子守りをするのをPRして職員の採用をしたり、違法な働かせ方をしている事業所があることを指摘し、改善を求めました。担当課は「指導していく」と答弁しました。

最後に、児童発達支援センターひまわり学園のつぼみクラス（肢体不自由児対象）だけが市の他施設、他政令市施設に比べても通所日数、親子分離の時間がとくに少ないことを明らかにし、早急に体制強化を求めました。

10月1日、久保みき、とばめぐみの両市議が決算特別委員会（保健福祉委員会関連）において質疑しました。

久保市議は保健所における新型コロナウイ

あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連